

現地調査について

1. 目的

- 小中学校施設を中心として、現状の課題把握や好事例の収集等を行うことにより、新たな時代の学びを実現する学校施設の在り方等における議論の充実を図る。

2. テーマ

- 以下のテーマを中心に現地調査候補を抽出する。

- 1) 一人一台端末環境のもと、個別最適な学びと協働的な学びを実現する施設環境
※ICT活用や対面指導と遠隔・オンライン教育とのハイブリッド化による指導等に資する施設環境など
- 2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に資する施設環境
※アクティブ・ラーニング等の多様な学びのスタイルや教科等横断的学習等に対応した弾力的な施設環境など
- 3) 新しい生活様式を踏まえ、健やかに学習・生活できる施設環境
※豊かな心と健やかな体を育む、健康的でゆとりと潤いのある施設環境など
- 4) 地域の生涯学習やまちづくりの核としての施設環境
※他の公共施設等との複合化・共用化等により、多様な学びを生み出す施設環境など

3. 視察先の選定方法

- 「2. テーマ」を意識しつつ、委員からも推薦等を募集した上で、

- ・ 施設規模（大規模、小規模）
- ・ 地域（都市部、地方）
- ・ 整備手法（新增改築、既存施設の長寿命化改修等）
- ・ 特色ある教育内容 等

に留意し、バランス良く視察先を選定。特に、長寿命化改修等により、既存施設において多様な学びに対応した整備を実現している事例の抽出に努める。

4. 留意点等

- 本年3月から5月の実施を計画することとするが、新型コロナウイルス感染拡大の状況等を踏まえて実施の可否を判断する。現地での調査が実施できない場合は、書面・オンラインによる調査も含めて、方法を検討する。
- 「新しい時代の学校施設検討部会」委員を中心に、協力者会議委員の協力を要請する。